

いせはらしなんばー71 いせき

伊勢原市No.71 遺跡

(粟窪地区)

(伊勢原市No.71遺跡)

調査期間 20101001～継続中

所在地 伊勢原市粟窪

時代
古代(平安)
中世
近世



作成日:20101209 更新:20110419

概要

伊勢原市No.71 遺跡(粟窪地区)は小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの台地上に立地しています。調査は中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴い平成22年10月1日から実施しており、これまでに市道53号線と東名高速道路が交差する付近に位置する1区と4区の調査を行いました。調査の結果、1区では近世の道状遺構・畝状遺構、古代の畝状遺構・円形土坑などの遺構が発見され、主に畑として利用されていたことが判りました。また、近世から中世には西から東へ流れる流路が存在し、それ以前には調査区の中央部に小谷が入り込んでいたことが明らかとなりました。流路からは杭列が見つかり、谷を埋めていた古墳時代と考えられる土層中からは木製品が出土しています。4区では近世の段切り・畝状遺構、古代の溝状遺構・円形土坑などが発見され、この地も畑として利用されていたことが判明しました。



▲ 1区 木製品出土状況(古墳時代)



▲ 4区 溝状遺構と円形土坑(古代)